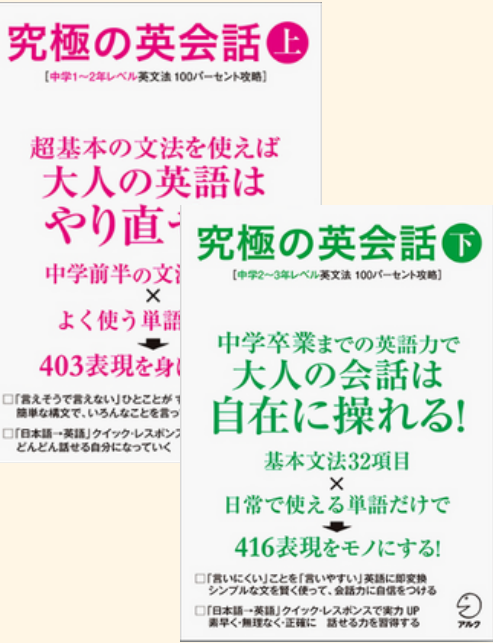


あなたにおすすめのコース・教材（スピーキング学習）

インプット

1 *booco*

スピーキングBasic コース（必修本3冊＋2冊）



2 オンラインセミナー

- ・モチベーションアップ
- ・クリエイティブスピーキング

アウトプット

3

アルクオンライン英会話

スピーキング
トレーニング
or
フリートーク
or
ビジネス英会話
初級・中級

24回

アセスメント

4



スピーキングテスト2回

コース目標

- ・ 日常会話(例：電話、レストラン、買い物など)において、短いフレーズ(One Phrase)を言えるだけでなく、SとVがある英文でしっかりと答え、コミュニケーションを円滑に進められるようにする。
- ・ 単語・文法をアウトプットで使用でき、SとVがある短い文を瞬間的に構築できるようにする。
- ・ 例えば、電話対応においてSとVがある正しい英文でやり取りができ、相手に理解してもらえる発音を身に付け、自分のプレゼンスを高めながら業務を遂行できる。
- ・ 新たな表現をActiveボキャブラリー(当たり前に見える表現)へと変換していく。

学習目安時間

1日 15分

(総合学習時間 約45時間)

*TSST受験時間除く



※所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

学ぶ順番・学習スケジュール例（6か月間）

コース・教材	インプット					アウトプット	アセスメント		
	1					2	3	4	
	booco スピーキングBasicコース(必修本)					オンラインセミナー	アルク オンライン英会話	スピーキング テスト	
						 ①モチベーションアップ ②クリエイティブ スピーキング			
進度	ユニット数	ユニット数	ユニット数	ユニット数	ユニット数	本数	レッスン数	—	
学習法動画 5分でトクする動画シリーズ	 タップして視聴	 タップして視聴	—	—	—	—	—	—	
進度目安 1か月目	1-8	1-10	—	1-10	—	最初の1か月で① ②を視聴	1-4回目	受験	
進度目安 2か月目	9-16	11-21		11-20		5-8回目			
進度目安 3か月目	17-24	22-32		21-31		9-12回目			
進度目安 4か月目	—	—	1-10	—	1-10	学習しながら、困ったときに いつでも見直す	13-16回目	—	
進度目安 5か月目			11-20				11-20		17-20回目
進度目安 6か月目			21-30				21-32		21-24回目

※所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

学習スケジュール例（1週間）

5～6日間					1日間			
1か月目～ 3か月目	インプット	1		2ユニット	インプット	2	オンライン セミナー	最初の1か月で2本すべてを 見るのがおすすめ
				2～3ユニット	アウトプット	3	スピーキング トレーニング or フリートーク or ビジネス英会話 初級・中級	1回
				2～3ユニット				
4か月目～ 6か月目	インプット	1		2～3ユニット	アウトプット	3	スピーキング トレーニング or フリートーク or ビジネス英会話 初級・中級	1回
				2～3ユニット				

本スケジュールを参考に1週間の計画をご自身の都合に合わせて組み立ててください。

例) 「1週間毎日勉強する」「1週間のうち1日は休み、ほかの6日間で勉強を進める」等

※所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

学習の進め方・学習のポイント

インプット

1 booco

アプリの各レッスンに沿って学習をすすめる（[booco使い方を見る](#)）

2 オンラインセミナー

最初の1ヵ月ですべて視聴することをおすすめ。疑問に感じた時にいつでも戻ってきて参考に。（[オンラインセミナーページを見る](#)）

アウトプット

3 アルクオンライン英会話

[スピーキングトレーニング]

①毎回使用したい英文法表現/構文を決めて授業に臨む。

②5つ[中級/上級]のファンクション(スピーキングトレーニングテキスト参照)をベースに、講師と一緒に授業を進めていく。その中でも「自分のことを話す」ファンクションにまずは焦点を当てる。

③講師から新たな表現や文法について説明をされたら、ノートにメモをとる。最低一つの知識を積み重ねていく。

[理想]新しい表現をメモしたら、それを使って英作文を試してみる(口頭でもよい)。

[フリートーク]

①毎回使用したい英文法表現/構文を決めて授業に臨む。

②[中級/上級]受講生がトピックを事前に決め、講師と実践していくのが理想的。身近なトピックを選び、それについて”言いたいこと”を英文で作成し用意しておくこともおすすめ。本番がたとえスピーチのようでも、発話量が増え当たり前に使える英語表現が増えればOK!

アセスメント

4 TSSTスピーキングテスト

9段階レベルとスコアで判定し、スピーキング能力の詳細分析が可能です。あなたに効果的なトレーニング方法の詳細も提示されますので、受験をおすすめします。詳しくは受験期間前日に送信される「英語スピーキングテストTSST受験のご案内」をご覧ください。

プラスαの勉強法

✓ booco[Mr. Evineの中学英文法+αで話せるドリル]

1. 解答しながら、好きなように声に出してみる。正確な発音は「"おいておく"」
2. 解答しながら、主語と動詞はどれかな？と考える。正解かは「"気にしない"」「"考えること"」の方が大切。
3. 「"正解だった!"」選択肢に印をつけていく。[もしくは間違えた問題番号をメモする。]
4. 2周目は「"印のない"」問題だけに取り込む。[間違えた問題に取り組む。]正解したら印をつける。
5. 解説を読み、その後テストへと進む。
6. 3周目も2周目と同様に取り組む。
7. 5周ぐらいしたら「"全ての問題"」に取り組む。
上記のサイクルを同様に繰り返す

✓ booco[究極の英会話(上)(下)中学1年～2年レベル 英文法100パーセント攻略]

1. 左ページの日本語を読んだ瞬間に赤字に注目する。
2. 赤字箇所の英語表現が何か考えながら、英文を組み立てる。
3. 組み立てた英文を声に出して言う。できれば2回から3回言う。
4. 右ページに進み、提示されている英文を声に出しながら自分の英文と比べる。
5. 次回以降、赤字箇所を瞬時に使用できるようにしていく。
6. 解説ページに進み、再現性のある文法表現(赤字)を理解する。
＊発話量を増やす。

追加のおすすめ学習教材

メインコース・教材中心に取り組み、学習時間に余裕がある方は「追加学習コース」に取り組むことをおすすめします。

トーキングマラソン



話すことが好きな学習者は取り組んでみることをおすすめ！

NetAcademy Next



総合英語トレーニング 上級コース
スピーキングユニット

学習時間確保のコツ

「学習時間を確保できない」は多くの英語学習者が持つ悩みです。勉強時間の確保にはコツがあります。時間を削って新たに学習時間を生み出すのではなく、見つけることが重要です。

毎日のルーティンとセットにする

- ✓ 生活パターンを把握して学習時間を見つける
- ✓ 無理のない形で、今の生活パターンを崩さないように学習計画を組み込む

無理に思える学習計画（例えば、「自宅で夕食後に1時間」「朝早起きして1時間」「帰宅後に趣味の時間を削って1時間」等）では時間が確保できず、学習が続きません。週末には可能であればじっくり取り組む時間を取りたいものですが、重要なのは「無理のない形で、今の生活パターンを崩さないように学習計画を組み込む」ことです。ルーティンとセットにして、学習を継続しましょう。

ルーティン

電車に乗る（行き）
電車に乗る（帰り）
会社の昼休み
入浴前・後
寝る前にスマホを見る
お弁当を作る（平日）

ルーティンとセットにする

電車での行き帰りの15分
昼食後の10分
入浴前後の15分
寝る前の5分
お弁当作りの時（リスニング学習）等